

令和4年度 廃棄物資源循環学会九州支部総会

日時:令和4年5月14日(土)

会場:九州大学西新プラザ、オンラインハイブリッド

総会	13:00～13:45
講演会	14:15～15:15
ポスター発表	15:30～16:45
意見交換会	17:00～18:00 (中止)

総会次第

1. 開会の辞
2. 副支部長挨拶
3. 議長選出
4. 議事録署名人の指名
5. 議事
 - 1号議案 令和3年度事業報告
 - 2号議案 令和3年度収支決算
監査結果報告
 - 3号議案 令和4年度事業計画(案)
 - 4号議案 令和4年度収支予算(案)
 - 5号議案 理事・監事の改選について
6. 閉会の辞

令和3年度 事業報告

1. 会員の状況(九州支部)

種 別	令和3年4月1日現在	平成4年4月1日現在	差引増減
正会員	199 〔内 名誉会員 2 フェロー会員 4〕	200 〔内 名誉会員 2 フェロー会員 4〕	+1
シニア会員	9	8	-1
学生会員	11	16	+5
公益会員	10	10	0
賛助会員(法人)	6	7	+1
賛助会員(個人)	0	0	0
登録団体市民会員	0	0	0
個人市民会員	1	1	0
合 計	236	242	+6

2. 会議

令和3年度総会

令和3年5月22日(土)(オンライン)

理事会

第1回 令和3年5月22日(土)(オンライン)

- ・令和3年度の支部体制について
- ・令和3年度支部活動について

第2回 令和3年10月20日(水)(オンライン)

- ・令和3年度支部役員名簿確認
- ・令和3年度事業報告
- ・令和3年度事業計画
- ・令和4年度 年会の開催地と日程
- ・令和4年度以降の事務局ローテーション(案)について

第3回 令和4年3月14日(月)(オンライン)

- ・令和3年度事業報告及び収支決算について
- ・令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ・第33回廃棄物資源循環学会研究発表会について

臨時理事会

令和3年8月2日(月)(メール審議)

- ・評議員変更について

令和3年12月1日(水)(オンライン)

- ・第33回廃棄物資源循環学会研究発表会実行委員会について

評議員会

- 第1回 令和4年3月14日(月)(オンライン)
- ・令和3年度事業報告及び収支決算について
 - ・令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ・第33回廃棄物資源循環学会研究発表会について
 - ・理事・監事の改選について

幹事会

- 第1回 令和3年10月5日(火)(オンライン)
- ・令和3年度幹事会体制
 - ・令和3年度事業報告
 - ・令和3年度事業計画
 - ・令和3年度九州支部講演会
 - ・第33回廃棄物資源循環学会研究発表会について
- 第2回 令和4年2月17日(木)(オンライン)
- ・令和4年度幹事会体制
 - ・令和3年度事業報告
 - ・令和4年度事業計画
 - ・第33回廃棄物資源循環学会研究発表会について

3. 事業活動

(1) 総会・講演会・意見交換会

1. 概要

日 時:令和3年5月22日(土) 13:00~17:15

場 所:オンライン

内 容:

(1)令和3年度総会 13:00~13:45

<議事事項>

- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度収支決算、監査結果報告
- ・令和3年度事業計画(案)
- ・令和3年度収支予算(案)
- ・評議員の改選について

(2)講演会 14:30~15:30

「循環型経済を実現する廃棄プラスチックの高度マテリアルリサイクル」

講演者 :福岡大学工学部教授 八尾 滋氏 氏

(3)研究ポスター発表会及び留学生等交流会 15:45~17:15

2. 決算

1) 参加者数: 総会 37名(うち正会員 37名)、講演会 40名

研究ポスター発表会及び留学生等交流会 50名

2) 決算内訳

[単位:円]

科 目		令和3年度予算	令和3年度決算	備 考
支部活動支援金		0	0	
参加費	講演会	60,000	0	リモートによる実施(無料)
	意見交換会	90,000	0	
収入計		150,000	0	
講師謝金		10,000	10,000	10,000円×1名
会場費		25,000	0	
講師交通費		0	0	
飲食費		180,000	0	意見交換会等
総会費		5,000	0	郵送費,資料作成等
雑費		0	220	振込み手数料,名札代等
支出計		220,000	10,220	
収支		△70,000	△10,220	

(2) 市民フォーラム

1. 概要

日 時:令和3年11月13日(土)13:30~15:00

開催方法:オンライン(Teams)及び福岡大学会場のハイブリット開催

講 師:境 道啓 氏(元・環境省福島地方環境事務所職員)

内 容: 東日本大震災に伴う事故由来放射性物質により汚染された廃棄物の焼却処理について、福島で経験された活動を基に講演をしていただいた。

(調査研究部会との合同実施)

参加者数:56名(会場19名、オンライン37名)

2. 決算

[単位:円]

科 目	令和3年度予算	令和3年度決算	備 考
支部活動支援金	50,000	50,000	
参加費	0	0	
収入計	50,000	50,000	
会場費	0	0	
交通費	0	0	
講師謝金	0	10,000	
資料作成費	10,000	9,630	バナー作成費、印刷費
通信費	0	0	
雑費	40,000	47,997	マイクスピーカー (現地とWebのハイブリット開催用)
支出計	50,000	67,627	
収支	0	△17,627	

(3) 施設研修会

1. 概要

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現地に赴いての視察を取り止め、施設研修部会員が代表視察した様子を録画した動画を支部会員が WEB 上で視聴する、「WEB 研修方式」による施設研修会を開催する計画としていた。しかしながら、福岡県内における新型コロナウイルス感染拡大により、様々なイベント等が開催中止を余儀なくされる状況の中、施設研修開催時期を定めることが出来ず、今年度も開催を断念した。

令和 4 年度もコロナ禍は継続することが想定されるどころ、時機を見計らった上で、研修先施設での現地研修を基本とした施設研修会の開催を計画する。

2. 決算

[単位:円]

科目	令和3年度 予算	令和3年度 決算	備考
支部助成金	70,000	70,000	
参加費	0	0	
収入計	70,000	70,000	
交通費	20,000	0	
講師謝金	20,000	0	
資料作成費	20,000	0	
通信費	5,000	0	
雑費等	5,000	0	
支出計	70,000	0	
収支	0	70,000	

(4) 調査研究事業

1. 概要

(1) 災害廃棄物の処理に係る技術的支援活動

廃棄物資源循環学会は環境省災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)の一員として技術的支援の役割を担っている。

災害時の活動として、令和3年8月11日からの大雨では九州北部および中国地方において記録的な大雨が記録され、大規模な水害が発生したことを受け、同年8月22日に佐賀県および福岡県の被災地を対象に被災状況および災害廃棄物処理状況の現地調査を行なった。

平時の活動として、災害廃棄物の処理に係る講演会として、元・環境省福島地方環境事務所職員の境道啓氏に「事故由来放射性物質に汚染された廃棄物の焼却処理 ～福島における汚染廃棄物処理の報告～」と題してご講演いただいた。当講演会は市民フォーラム部会と共催で開催した。

<令和3年8月11日からの大雨により発生した災害廃棄物の処理状況調査>

日時：令和3年8月22日(日) 9:00～17:00

場所：武雄市、大町町、白石町、江北町、久留米市

参加者：4名（九州支部会員）

<講演会> ※市民フォーラム部会との共催

日時：令和3年11月13日(木) 13:30～15:00

場所：福岡大学およびオンライン(MS Teams)のハイブリッド開催

講師：境道啓氏（元・環境省福島地方環境事務所職員）

演題：「事故由来放射性物質に汚染された廃棄物の焼却処理 ～福島における汚染廃棄物処理の報告～」

参加者数：56名（会場19名、オンライン37名）

2. 決算

[単位:円]

項目	令和3年度予算	令和3年度決算	備考
支部活動支援金	20,000	20,000	
収入計	20,000	20,000	
会場費	0	0	
交通費	19,000	0	
講師謝金	0	0	市民フォーラム部会から支出(10,000円)
資料作成費	0	0	市民フォーラム部会から支出(9,630円)
通信費	0	0	
雑費	1,000	0	市民フォーラム部会から支出(47,997円)
支出計	20,000	0	
収支	0	20,000	

(5) 研究発表事業

1. 概要

令和3年5月22日(土)、Zoomを用いたオンラインによる「令和3年度研究ポスター発表会・留学生等 交流会」が開催された。本研究ポスター発表会・留学生等交流会は、九州支部の学生や若手研究者の育成、及び留学生の発表を通じた国際交流の推進を目的に毎年開催されている。昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、今回はオンラインで九州支部総会と共に開催された。

本年度も九州内の大学、高等専門学校、及び研究機関(北九州市立大学、九州大学、福岡大学、福岡県保健環境研究所、鹿児島高等専門学校)から22件の研究発表があり、その内2件が留学生(トリニダドバコ、ケニア)による発表であった。オンラインを使ったZoom会場には22名の発表者と50名近くの参加者が集まった。初めに、ポスター発表者に一分間の内容説明をしていただき、その後、発表内容毎でセッションを割り振りブレイクアウトルームに発表者と参加者を振り分けた。参加者からはオンラインでも十分に議論が出来たとの感想もあった。対面の際は、福岡近郊からの発表者が多いのに対し、今年は鹿児島高専から5件もの参加があり、オンラインによるメリットを感じた。最後に、参加者からの投票により5件の優秀ポスターが選ばれ、受賞者に賞状と記念品が郵送された。

2. 決算

[単位:円]

科目	令和3年度予算	令和3年度決算	備考
支部活動支援金	120,000	120,000	
収入計	120,000	120,000	
会場費	90,000	0	
交通費	20,000	0	
資料作成費	0	0	
通信費	0	1,910	研究ポスター発表会 賞状等郵送費
雑費	10,000	10,539	図書カード、賞状、 振込手数料
支出計	120,000	12,449	
収支	0	107,551	

(6) 広報事業

1. 事業報告

九州支部の活動紹介、九州支部会員への情報提供を目的として、下記の広報活動を行った。

- ・九州支部サイト運営
昨年度に引き続き、本部と連携したサイト運営を行った。
- ・電子メールによる情報発信
九州支部の会員へ学会主催のイベント等を電子メールにて情報提供した。

2. 決算報告 [単位:円]

科目	令和3年度予算	令和3年度決算	備考
支部活動支援金	5,000	5,000	
収入計	5,000	5,000	
通信費	0	0	
資料作成費	0	0	
雑費	5,000	0	
支出計	0	0	
収支	0	5,000	

(7) 共催支援事業

1. 概要

廃棄物問題改善に対する情報普及と学会活動の活性化・広報を目的として、九州近隣区域内で開催される学会・講演会等の企画・実施を支援していく制度である。

令和2年度は、2件の事業に対して共催支援等を行った。

- 助成要件： 1. 廃棄物をテーマとした事業で、支部会員の参加が見込めるもの
2. 宗教目的、政治目的、営利目的でないこと
- 助成申請方法： 正会員を申請者とし、別途定める様式に基づく申請
- 募集方法： 九州支部ホームページ等を用いて広報する。
- 募集期間： 随時
- 選考方法： 支援金なし：事務局において審査する。
支援金あり：事務局において審査した上で、理事会において選考する。
- 講演会等の後援： 名義貸し後援とし、案内チラシ等に当学会の名称が記載されることが条件
- 実施報告： 事業実施報告書提出を義務付ける。

2. 共催支援状況

支援概要：支援金なし、後援

- ① テーマ：「第24回（2021年度）日本環境共生学会学術大会 公開シンポジウム」
開催日：令和3年9月25日
主催：日本環境共生学会学術大会実行委員会
- ② テーマ：「産業廃棄物処理業界における企業の価値創出～ダイバーシティ人材活用～」
開催日：令和4年2月16日
主催：公益社団法人福岡県産業資源循環協会
- ③ テーマ：「廃棄物処理、下水処理分野における新型コロナウイルス対策と実態調査」
開催日：令和4年3月15日
主催：NPO法人廃棄物地盤工学研究会

3. 決算

[単位：円]

科目	令和3年度予算	令和3年度決算	備考
支部活動支援金	5,000	5,000	
収入計	5,000	5,000	
共催支援費	0	0	
交通費	0	0	
通信費	5,000	0	
支出計	5,000	0	
収支	0	5,000	

2号議案

2021年度(令和3年度) 収支決算報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

廃棄物資源循環学会九州支部

(単位:円)

I 収入の部

科目	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	予算額と 決算額の差	積算基礎および説明(令和3年度決算) 特記事項
1 廃棄物資源循環学会支部活動費	335,000	223,434	△ 111,566	
2 事業収入	150,000	0	△ 150,000	
(1)講演会及び意見交換会	150,000	0	△ 150,000	
(a)参加費	150,000	0	△ 150,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン・リモート (Zoomによる)実施(無料)
(2)市民フォーラム/出前講演会	0	0	0	11/13講演会(Teamオンラインのハイブリッド開催)
(a)参加費	0	0	0	
(3)施設研修会	0	0	0	
(a)参加費	0	0	0	
3 雑収入	100	4	△ 96	
(1)預金利子等	100	4	△ 96	預金利子
4 前年度繰越金	454,266	454,266	0	
収入合計	939,266	677,704	△ 261,662	

II 支出の部

(単位:円)

科目	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	予算額と 決算額の差	積算基礎および説明(令和3年度決算) 特記事項
1 事業費	485,000	90,296	△ 394,704	
(1)講演会及び意見交換会	215,000	10,220	△ 204,780	
(a)講師謝金	10,000	10,000	0	講演会1名
(b)会場費	25,000	0	△ 25,000	
(c)講師交通費	0	0	0	
(d)飲食費	180,000	0	△ 180,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、意見交換会中止
(e)雑費	0	220	220	源泉税振込手数料
(2)市民フォーラム/出前講演会	50,000	67,627	17,627	11/13講演会(Teamオンラインのハイブリッド開催)
(a)会場費	0	0	0	
(b)資料作成費	10,000	9,630	△ 370	パンナー作成費、印刷費
(c)講師謝金	0	10,000	10,000	講演会1名
(d)講師交通費	0	0	0	
(e)通信費	0	0	0	
(f)雑費	40,000	47,997	7,997	マイクスピーカー(現地とWebのハイブリッド開催用)等
(3)施設研修会	70,000	0	△ 70,000	
(a)交通費	20,000	0	△ 20,000	
(b)資料作成費	20,000	0	△ 20,000	
(c)講師謝金	20,000	0	△ 20,000	
(d)通信費	5,000	0	△ 5,000	
(e)雑費	5,000	0	△ 5,000	
(4)調査研究事業	20,000	0	△ 20,000	
(a)会場費	0	0	0	
(b)交通費	19,000	0	△ 19,000	
(c)資料作成費	0	0	0	
(d)通信費	0	0	0	
(f)雑費	1,000	0	△ 1,000	
(5)研究発表事業	120,000	12,449	△ 107,551	
(a)会場費	90,000	0	△ 90,000	
(b)交通費	20,000	0	△ 20,000	
(c)資料作成費	0	0	0	
(d)通信費	0	1,910	1,910	研究ポスター発表会賞状等郵送費
(e)雑費	10,000	10,539	539	図書カード+賞状+振込手数料
(6)広報事業	5,000	0	△ 5,000	
(a)資料作成費	0	0	0	
(b)通信費	0	0	0	
(c)雑費	5,000	0	△ 5,000	
(7)共催支援事業	5,000	0	△ 5,000	
(a)交通費	0	0	0	
(b)通信費	5,000	0	△ 5,000	
(c)共催支援費	0	0	0	

2 管理費	194,366	14,743	△ 179,623	
(1) 会費	91,000	4,620	△ 86,380	
(a) 総会費	5,000	4,620	△ 380	案内郵送費等
(b) 幹事会費	20,000	0	△ 20,000	
(c) 評議員会、理事会の会費	60,000	0	△ 60,000	
(d) その他の会費	6,000	0	△ 6,000	
(2) 事務運営費	86,000	0	△ 86,000	
(3) 事務雑費	17,366	10,123	△ 7,243	
(a) 交通費	3,000	0	△ 3,000	
(b) 印刷費	3,000	0	△ 3,000	
(c) 消耗品費	3,500	0	△ 3,500	
(d) 通信費	5,866	3,380	△ 2,486	委嘱状送付
(e) 雑費	2,000	6,743	4,743	委嘱状送付用具等
2022年度年会準備作業等	260,000	0	△ 260,000	
支出合計	939,366	105,039	△ 834,327	
収入－支出	0	572,665		

令和3年度 監査報告


令和3年度 監査報告書

廃棄物資源循環学会九州支部

副支部長 土手 裕 殿

一般社団法人廃棄物資源循環学会九州支部運営規程第6条第6項の規定に基づき、令和3年度収支決算及び関係書類を監査したところ、適正に処理されていることを報告いたします。

令和4年4月 27 日

監事 川鍋 茂 

監事 吉田 伸隆 

3 号議

令和4年度 事業計画(案)

1. 会員の状況(九州支部)

種 別	平成4年4月1日現在	令和5年4月1日見込み	差引増減
正会員	200 〔 内 名誉会員 2 フェロー会員 4 〕	204 〔 内 名誉会員 フェロー会員 〕	+4
シニア会員	8	8	0
学生会員	16	23	+7
公益会員	10	11	+1
賛助会員(法人)	7	8	+1
賛助会員(個人)	0	0	0
登録団体市民会員	0	0	0
個人市民会員	1	3	+2
合 計	242	257	+15

2. 会議

令和4年度総会

令和4年5月14日(土)(九州大学西新プラザ・オンラインのハイブリッド)

理事会

- 第1回 令和4年5月14日(土)(九州大学西新プラザ・オンラインのハイブリッド)
- ・令和4年度の支部体制について
 - ・令和4年度の支部活動について
- 第2回 令和4年11月
- ・各事業の状況について
 - ・第33回廃棄物資源循環学会研究発表会について
- 第3回 令和5年3月
- ・令和4年度事業報告及び収支決算について
 - ・令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ・令和5年度の支部体制について
 - ・評議員の改選について

評議員会

- 第1回 令和5年3月
- ・令和4年度事業報告及び収支決算について
 - ・令和5年度事業計画及び収支予算(案)について
 - ・令和5年度の支部体制について

幹事会

- 第1回 令和4年7月
 - ・令和4年度の幹事会体制について
 - ・令和4年度の事業報告および事業計画について
- 第2回 令和4年10月
 - ・令和4年度の事業報告および事業計画について
- 第3回 令和5年2月
 - ・令和4年度事業報告及び収支決算について
 - ・令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ・令和5年度運営方針・体制について

3. 事業活動

(1) 総会・講演会・研究ポスター発表会・意見交換会

1. 概要

日 時: 令和 4 年 5 月 14 日(土) 13:00~18:00

場 所: 九州大学西新プラザ、オンラインのハイブリッド形式

内 容:

(1) 令和 4 年度総会 13:00~13:45

<議事事項>

- ・令和 3 年度事業報告
- ・令和 3 年度収支決算、監査結果報告
- ・令和 4 年度事業計画(案)
- ・令和 4 年度収支予算(案)
- ・理事・監事の改選について

(2) 講演会 14:15~15:15

「川南町におけるバイオマスの活用と課題解決」

講演者 : 宮崎県川南町役場産業推進課 長友 竜二氏

(3) 研究ポスター発表会及び留学生等交流会 15:15~16:30

(4) 意見交換会 16:30~18:00(コロナの状況により中止)

2. 事業計画(案)

1) 参加者数: 総会 80 名、講演会 90 名(内、学生 10 名)、意見交換会 54 名(中止)

2) 予算内訳

[単位:円]

科 目		令和 3 年度決算	令和 4 年度予算案	備 考
支部活動支援金		0	0	
参加費	講演会	0	60,000	1,000 円×60 名(正会員) 0 円×10 名(学生会員)
	意見交換会	0	90,000	3,000 円×30 名(正会員) 0 円×30 名(学生会員) (中止)
収入計		0	150,000	
講師謝金		10,000	10,000	10,000 円×1 名
会場費		0	25,000	
講師交通費		0	0	
飲食費		0	180,000	意見交換会等(中止)
総会費		0	5,000	郵送費, 総会資料作成等
雑費		220	0	源泉税振込み手数料, お茶, 名札代等, 看板製 作費等
支出計		10,220	220,000	
収支		△10,220	△70,000	

(2) 市民フォーラム

1. 概要

日 時:令和5年3月頃(予定)

場 所:福岡市西区市民センター(未定)

内 容:イベント参画「西区環境フェスタ」ブース出展(予定)

市民を対象に子どもから大人まで世代を超えて環境について楽しみながら学べる参加体験型イベントが福岡市西区で毎年開催されている。そのイベントにおいて、廃棄物資源循環学会九州支部の活動を紹介することを目的にブースの出展を行う。

2. 事業計画(案)

1) 参加者数:100名程度

2) 予算内訳

[単位:円]

科 目	令和3年度決算	令和4年度予算案	備 考
支部活動支援金	50,000	50,000	
参加費	0	0	
収入計	50,000	50,000	
会場費	0	0	
交通費	0	0	
講師謝金	10,000	0	
資料作成費	9,630	10,000	印刷費
通信費	0	0	
雑費	47,997	40,000	材料費
支出計	67,627	50,000	
収支	△17,627	0	

(3) 施設研修会

1. 概要

【令和4年度事業計画:最新の廃棄物処理・処分施設の現状と課題を探るWEB研修】

1)趣旨:

最新の廃棄物処理・処分施設を視察し、現状と課題を探るための研究集会を企画する。

令和4年度もコロナ禍は継続することが想定される。WEB研修方式による開催を計画する。

(状況を鑑みて、研修先施設での現地研修会の開催も検討する。)

2)開催日時: 令和4年度時期未定

3)会場: 福岡県内および周辺に所在する廃棄物処理・処分施設

4)主催: 廃棄物資源循環学会九州支部(施設研修担当)

5)内容:

(1)目的: 最新の廃棄物処理・処分施設の現状と課題を探る研究集会

(2)実施方法: 廃棄物処理・処分施設のWEBによる研修(現地視察研修も検討)

(3)対象者: 九州支部会員等

(4)研修内容

・研究集会:①廃棄物処理・処分施設の視察について

②自治体や施設維持管理者等から見た現状と課題について

・発表者:施設担当者

2. 事業計画(案)

1)参加者数:30名程度(現地研修会の場合)

2)予算内訳

[単位:円]

科目	令和3年度 決算	令和4年度 予算案	WEB研修方式の場合	備考	
					(参考)令和4年度予算案 (現地研修の場合)
支部助成金	70,000	70,000		70,000	
参加費	0	0		60,000	(内訳)2,000円×30名(会員) 2,500円×0名(非会員) 0円×数名(学生会員)
収入計	70,000	70,000	—	130,000	—
交通費	0	20,000	10,000円×2名(部会員)	100,000	バス、高速道路、駐車料金
講師謝金	0	20,000	10,000円×2名(講師)	20,000	10,000円×2名(講師)
資料作成費	0	20,000	動画作成費等	2,000	資料印刷費等
通信費	0	5,000	郵送費(Emailによる案内主体)	5,000	郵送費(Emailによる案内主体)
雑費等	0	5,000	源泉税振込手数料等	3,000	源泉税振込手数料等
支出計	0	70,000	—	130,000	—
収支	70,000	0	—	0	—

(4) 調査研究事業

1. 概要

(1) 今後の活動について

今後の調査研究部会の活動内容を議論するとともに、調査研究活動費を獲得するために科学研究費補助金等の研究助成金の申請に向けた活動を行う。

(2) 災害廃棄物の処理に係る技術的支援活動

廃棄物資源循環学会は環境省災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)の一員として技術的支援の役割を担っている。

九州支部管内で災害が発生した際には、その災害廃棄物処理の状況を把握するための調査を行い、技術的支援の可能性を検討し、必要に応じて技術的支援を行う。

また平時の活動として、災害時の学会員による現地支援を円滑に行うことができるようにすることを目的に、支援経験者の経験を未経験者に伝えることを目的とした情報交換会をオンラインで開催する。

<災害時調査>

日 時： 随時

場 所： 被災地

参加者： 調査研究部会員を中心とする九州支部会員

<災害時支援に係る九州支部内情報交換会>

日 時： 令和4年6月頃

場 所： オンライン会議室(Zoom)

参加者： 九州支部会員(災害時支援経験者、調査研究部会員、希望者)

2. 事業計画(案)

1) 参加者数： 上記の通り

2) 予算内訳

[単位:円]

項 目	令和3年度決算	令和4年度予算案	備 考
支部活動支援金	20,000	20,000	
収入計	20,000	20,000	
会場費	0	0	
交通費	0	19,000	災害時調査交通費
資料作成費	0	0	
通信費	0	0	
雑費	0	1,000	飲料代など
支出計	0	20,000	
収支	20,000	0	

(5) 研究発表事業

1. 概要

日 時： 令和 4 年 5 月 14 日(土)(研究ポスター発表会・留学生等交流会)

場 所： 九州大学西新プラザ

主 催： 廃棄物資源循環学会九州支部(研究発表部会)

テーマ： 若手研究者によるポスター発表

留学生等による各国廃棄物管理の紹介など

内 容： 九州支部の研究活動の一環として、若手研究者や留学生等に研究発表の場を提供すべく、研究ポスター発表会を実施する。また「留学生等交流会」を併催し、参加者が外国人留学生ならびに日本人学生と交流促進を図る機会を設ける。ポスター発表では参加者の投票によって優秀ポスター賞が選出される。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の状況を見ながら、対面もしくはオンラインでの開催を行う。

対象者： 九州支部会員、市民、事業者、行政関係者、研究者 等

2. 事業計画(案)

1) 参加者数： 70 名(発表者数 20 名前後)

2) 予算内訳

[単位:円]

科 目	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算案	備 考
支部活動支援金	120,000	120,000	
収入計	120,000	120,000	
会場費	0	90,000	パネル代+会場費
交通費	0	20,000	留学生の交通費補助
資料作成費	0	0	
通信費	1,910	0	
雑費	10,539	10,000	図書カード,賞状, 振込手数料
支出計	12,449	120,000	
収支	107,551	0	

(6) 広報事業

1. 概要:

九州支部会員への情報提供、会員数増及び会員の裾野を広げるための広報事業を行う。

・九州支部サイト運営

昨年度に引き続き、本部と連携したサイト運営を行う。廃棄物資源循環学会九州支部の活動がわかる動画等も掲載する。

・電子メールによる情報発信

九州支部の会員へ学会主催のイベント等を電子メールにて情報提供する。

2. 予算

[単位:円]

科目	令和3年度決算	令和4年度予算案	備考
支部活動支援金	5,000	5,000	
収入計	5,000	5,000	
通信費	0	0	
資料作成費	0	0	
雑費	0	5,000	
支出計	0	5,000	
収支	5,000	0	

(7) 共催支援事業

1. 概要

廃棄物問題改善に対する情報普及と学会活動の活性化・広報を目的として、九州近隣区域内で開催される学会・講演会等の企画・実施を支援していく制度である。

助成要件: 1. 廃棄物をテーマとした事業で、支部会員の参加が見込めるもの
2. 宗教目的、政治目的、営利目的でないこと

助成申請方法: 正会員を申請者とし、別途定める様式に基づく申請

募集方法: 九州支部ホームページ等を用いて広報する。

募集期間: 随時

選考方法: 支援金なし:事務局において審査する。
支援金あり:事務局において審査した上で、理事会において選考する。
(ただし、令和4年度は実施しない)

講演会等の後援: 名義貸し後援とし、案内チラシ等に当学会の名称が記載されることが条件

実施報告: 事業実施報告書提出を義務付ける。

2. 事業計画(案)

1) 予算内訳

[単位:円]

科目	令和3年度決算	令和4年度予算案	備考
支部活動支援金	5,000	5,000	
収入計	5,000	5,000	
共催支援費	0	0	
交通費	0	0	
通信費	0	5,000	
支出計	0	5,000	
収支	5,000	0	

4号議案

2022年度(令和4年度)収支予算書(案)

令和4年4月1日から令和5年3月31日

廃棄物資源循環学会九州支部

I 収入の部

(単位:円)

科目	令和4年度 予算額(案)	令和3年度 予算額	比較 増減額%	積算基礎および説明(令和4年度予算案) 特記事項
1 廃棄物資源循環学会支部活動費	133,000	335,000	40%	
2 事業収入	150,000	150,000	100%	
(1)講演会及び意見交換会	150,000	150,000	100%	
(a)参加費	150,000	150,000		講演会:正会員1,000円×60名 意見交換会:正会員300円×30名、学生(無料)×30名
(2)市民フォーラム/出前講演会	0	0	-	市民フォーラム
(a)参加費	0	0	-	
(3)施設研修会	0	0	-	
(a)参加費	0	0		WEB等を活用
3 雑収入	100	100	100%	
(1)預金利子等	100	100	100%	預金利子
4 前年度繰越金	572,665	454,266	126%	
収入合計	855,765	939,366	91%	

II 支出の部

(単位:円)

科目	令和4年度 予算額(案)	令和3年度 予算額	比較 増減額%	積算基礎および説明(令和4年度予算案) 特記事項
1 事業費	485,000	485,000	100%	
(1)講演会及び意見交換会	215,000	215,000	100%	
(a)講師謝金	10,000	10,000		講演会1名
(b)会場費	25,000	25,000		
(c)講師交通費	0	0		
(d)飲食費	180,000	180,000		意見交換会等
(e)雑費	0	0		源泉税振込み手数料、お茶、名札代等、看板製作費等
(2)市民フォーラム/出前講演会	50,000	50,000	100%	市民フォーラム
(a)会場費	0	0		
(b)資料作成費	10,000	10,000		印刷費
(c)講師謝金	0	0		
(d)講師交通費	0	0		
(e)通信費	0	0		
(f)雑費	40,000	40,000		材料費
(3)施設研修会	70,000	70,000	100%	
(a)交通費	20,000	20,000		部会員:10,000円×2名
(b)資料作成費	20,000	20,000		動画作成費等
(c)講師謝金	20,000	20,000		講師:10,000円×2名
(d)通信費	5,000	5,000		郵送費(Emailによる案内を主体)
(e)雑費	5,000	5,000		
(4)調査研究事業	20,000	20,000	100%	
(a)会場費	0	0		
(b)交通費	19,000	19,000		災害時調査交通費
(c)資料作成費	0	0		
(d)通信費	0	0		
(e)雑費	1,000	1,000		飲料代など
(5)研究発表事業	120,000	120,000	100%	
(a)会場費	90,000	90,000		パネル代+会場費
(b)交通費	20,000	20,000		留学生の交通費補助
(c)資料作成費	0	0		
(d)通信費	0	0		
(e)雑費	10,000	10,000		図書カード+賞状+振込手数料
(6)広報事業	5,000	5,000	100%	
(a)資料作成費	0	0		
(b)通信費	0	0		
(c)雑費	5,000	5,000		
(7)共催支援事業	5,000	5,000	100%	
(a)交通費	0	0		
(b)通信費	5,000	5,000		
(c)共催支援費	0	0		

2 管理費	370,765	194,366	191%	
(1)会議費	290,000	91,000	319%	
(a)総会費	5,000	5,000		郵送費、総会資料作成等
(b)幹事会費	80,000	20,000		
(c)評議員会、理事会の会議費	120,000	60,000		交通費、雑費
(d)その他の会議費	85,000	6,000		監査時交通費
(2)事務運営費	50,000	86,000	58%	
(3)事務雑費	30,765	17,366	177%	
(a)交通費	5,000	3,000	167%	
(b)印刷費	4,000	3,000		委嘱状、会議資料コピー代
(c)消耗品費	5,000	3,500		文具
(d)通信費	6,000	5,866		委嘱状送付
(e)雑費	10,765	2,000		
2022年度年会準備作業等	0	260,000		
支出合計	855,765	939,366	91%	
収入-支出	0	0		

5号議案

理事・監事の改選について

九州支部運営規程第6条に基づき、令和4～5年度の理事及び監事を下記の候補者に委嘱することについて承認を求めるもの。

理事(五十音順)

留任/新任	氏名	所属
留任 (10名)	吉柳 哲也	(株)川崎技研
	古保里 俊夫	(一財)日本環境衛生センター
	酒田 雅央	(公社)福岡県産業資源循環協会
	鈴木 慎也	福岡大学
	仙波 佳宣	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター
	外川 健一	熊本大学
	土手 裕	宮崎大学
	仲島 賢	(一財)九州環境管理協会
	濱村 研吾	福岡県保健環境研究所
	安福 規之	九州大学
新任 (7名)	足立 泰尚	(公財)ふくおか環境財団
	泉屋 亨	日鉄エンジニアリング(株)
	小林 斎哉	福岡市環境局廃棄物試験研究センター
	作花 哲朗	北九州市環境局
	中山 裕文	九州大学
	松崎 光宏	ひびき灘開発(株)
	松本 亨	北九州市立大学

監事(五十音順)

留任/新任	氏名	所属
留任 (2名)	川鍋 茂	SGL コンサルタント(株)
	吉田 伸隆	NPO 法人廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡

廃棄物資源循環学会九州支部 法人会員

令和4年4月1日現在

賛助会員:7 団体

太陽築炉工業(株)

(株)川崎技研

日鉄環境プラントソリューションズ(株)

大成管理開発(株)

九州クリーン工業(株)

JFE環境テクノロジー(株)

三池製錬(株)

公益会員 10 団体

(公社)福岡県産業資源循環協会

久留米市

(一財)九州環境管理協会

熊本県

福岡市保健環境研究所

(公財)北九州観光コンベンション協会

(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター

北九州市環境局

(公財)ふくおか環境財団

(一社)資源循環ネットワーク